

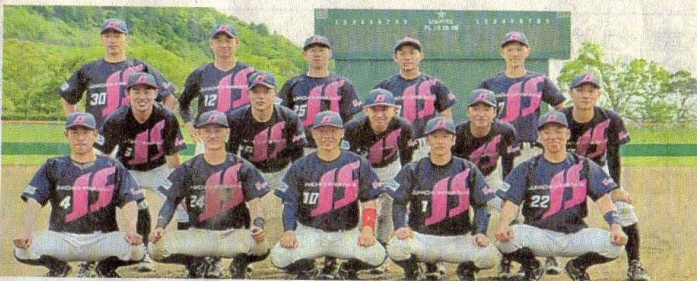
国体軟式野球選考会

軟式野球の栃木国体県代表選考会は4日、長崎市総合運動公園かきどまり野球場で行われ、リーグ戦を2戦全勝した十八親和銀行が2年連続で優勝した。十八親和銀行は6枠の本大会出場権を懸

けた九州ブロック大会（8月20、21日・熊本）に出場する。

県連盟Aクラスの2チームと予選を突破した大村市役所が出場。リーグ戦で競った。

最終戦は1勝同士の長崎サニクリンと十八親和銀行が対戦。十八親和銀行は初回1死三塁から鹿田の犠飛で先制したが、長崎サニクリンも八回1死満塁の好機に奥田の犠飛で追いつき、そのまま十回から無死一、二塁制の延長タイブレー



県代表に決まった十八親和銀行

ク…延長にもつれた長崎サニクリンとの熱戦を制し、昨年に続いて県代表の座をつかんだ十八親和銀行。11回1失点の先発森内が自らのバットで試合を決めた。仲間に祝福された26

森内 投打に活躍

歳は「一（走者が生還して）やと終わったと本当はうれしかった」と表情を緩めた。

長崎商高出身で入行5年目の左腕。力強い直球にツーシーム、スライダーを織り交ぜ、四球は一つだけと安定感抜群だった。無死一、二塁制の十、十一回は犠打を決めさせずに無失点で切り抜け、十一回の攻撃で左中間へ殊勳打。今季就任し、これが初タイトルとなった北田監督も「きょうは森内に助けられた」と賛辞を惜しまなかった。

バックも好守でもり立て、チームが目指す「バッテリーを軸とした守りの野球」を体現。8月の九州ブロック大会へ好感触を得た。切符を取りながら、国体が中止になった昨年の悔しさも胸に、森内は「粘り強く投げ、県代表にふさわしい試合を」と意欲を燃やしていた。（松本文泰）

2022年（令和4年）5月7日 土曜日

十八親和銀行 V 2 九州ブロックへ



【リーグ戦 長崎サニクリン―十八親和銀行】11回裏十八親和銀行2死一塁、サヨナラ打を放った森内（右）が仲間と喜び合う

―長崎市総合運動公園かきどまり野球場